



はなのき

神坂小学校だより No.3 2025.5.23



特に大切にしてほしいのは「チャレンジ」と「一人じゃない」

校長 伊藤 博章

5月13日に、5年生が「夢の教室」を行いました。これは様々な競技の選手が「夢先生」として登壇し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを伝えることで、児童たちの心身の健全な発達に貢献していくというプロジェクトで、神坂小学校では毎年5年生対象に行っています。R5年度は、バレーボールの落合真理選手から、R6年度は空手の杉本一樹選手からお話を聞きました。そして今年度はロンドンオリンピック女子400mメドレーリレー銅メダリストの加藤ゆか選手に来ていただきました。

5時間目は、体育館で集団ゲームをしました。はじめは、一つのフラフープを全員の指に乗せて、上げ下げするというものでした。もう一つは、バレーボールからアシスタントの手が離れている間だけ前に進んでよいというルールで、全員が5メートル先のゴールラインを越えるというものでした。どちらも単純なルールですが、「全員で成功する」となると、なかなか難しいものです。はじめは思いも動きもバラバラで、全員で成功にはほど遠い状態でした。加藤選手と一緒に、「成功するためにどんな工夫をするか」を話し合い、全員の意識を揃えた結果、どちらも時間内に「全員で成功する」という目標を達成することができました。前半と後半での児童同士で掛け合う声の内容が、批難から励ましに変わり、成功したときの喜び合う姿が印象的でした。



6時間目は、教室で加藤ゆか選手のお話を聞きました。その話の中で特に印象に残ったのが次の2つでした。

- ・継続や上達には、「楽しむ」気持ちが重要である。
- ・特に大切にしてほしいのは、「チャレンジ」する姿勢と「一人じゃない」という意識。夢を実現していくには、たくさんの人の支えが必要になる。一人で抱え込まないで、周りの人たちに頼ることも大切。私は母をはじめとする家族と、「オリンピックでメダルを獲る」という共通の目標に向かって一緒に頑張る仲間を支えられて夢を叶えることができた。



最後に代表の児童が、「今日に加藤選手お話の中で印象に残ったのは、あきらめずに「チャレンジ」したことで夢を叶えたということです。私も今の自分の夢をあきらめないうで、日々の勉強を頑張りたいと思いました。ありがとうございました。」と堂々と話す姿から、この日の2時間の経験が、5年生の児童たちにとって自分を見つめる素敵な時間になったと感じました。